

平成 27 年 1 月 5 日

エンジニアリング協会 関係者の皆様へ

一般財団法人 エンジニアリング協会

専務理事

前野 陽一

明けましておめでとうございます。

このレターが届くころには、皆様とは既に賀詞交歓会でご挨拶をしているかもしれませんが、本年もよろしくお願いいたします。

本年は未年ですので、過去の未年に起こった出来事を調べてみると、特に第二次世界大戦をはさんで、大きな節目の年であることがわかりました。

1919 年（大正 8 年）1 月には、ドイツで「ドイツ労働者党（のちのナチス）」が設立されるとともに、6 月には第 1 次世界大戦の勝者と敗者の間でベルサイユ条約が締結され、第 2 次世界大戦の火種が残る結果となりました。

1931 年（昭和 6 年）には、柳条湖事件から満州事変に発展し、日本が連合国との間で第 2 次世界大戦を戦う引き金となりました。

1943 年（昭和 18 年）には、日本の敗色が濃厚となり、学徒出陣が始まるとともに、連合国側はカイロ会談を開き、日本に対し無条件降伏を迫りました。

1955 年（昭和 30 年）は、冷戦の進展に伴い、ワルシャワ条約機構が結成されるとともに、保守合同により自由民主党が結成されました（大事件ではありませんが、私もこの年に生まれました。）。

1967 年（昭和 42 年）には、欧州共同体（EC）が設立されました。

1979 年（昭和 54 年）には、東京で初めてサミットが開催されるとともに、米中の国交が正常化されました。

1991 年（平成 3 年）には、湾岸戦争が勃発するとともに、ソビエト連邦及びワルシャワ条約機構が解体しました。

2003 年（平成 15 年）には、自衛隊がイラクに派遣されました。

このように、おとなしい羊のイメージとは異なり、何かと事件が起こっている未年ですが、今年は平和な 1 年であることを願っております。

以下、12 月の主な活動についてご報告申し上げます。

[主要な活動内容]

1 ENAA10 大ニュースの作成

昨年も作成いたしましたでしたが、2014 年(平成 26 年)の当協会の活動を「ENAA10 大ニュース」としてまとめてみました。このレターに添付させていただいておりますので、ご笑覧いただければ幸いです。

2 各省庁幹部への訪問

昨年末に突然衆議院議員選挙があり、選挙期間中は各省庁の幹部にもお時間があるのではないかと考え、年末のご挨拶もかねてご訪問いたしました。

その結果、経済産業省(立岡事務次官、上田資源エネルギー庁長官)、国土交通省(稲葉国際統括官)、外務省(上村中東アフリカ局長、三好領事局長)、(株)国際協力銀行(渡辺総裁)にお会いし、お話をすることができました。

お会いした皆様に賀詞交歓会へのご出席をお願いするとともに、当協会において講演をお願いいたしました。公務ご多忙の中、ほとんどの方にご快諾を賜りました。

3 環境省幹部との意見交換会

12 月 4 日(木)に、東洋エンジニアリング(株)様と関 地球環境審議官以下の環境省幹部の皆様との意見交換会を実施いたしました。

関 地球環境審議官は、ペルーで行われた国連気候変動枠組条約締約国会議(COP20)への出張直前という大変慌ただしいタイミングでしたが、東洋エンジニアリング(株)様の説明を熱心にお聞きいただき、有意義な意見交換ができました。

今年も、1 月 29 日(木)の(株)熊谷組様との意見交換会を皮切りに、継続していくこととしております。

4 国土交通省幹部との意見交換会

12 月 10 日(水)に JFE エンジニアリング(株)様、17 日(水)に日揮(株)様と、国土交通省の佐々木国土交通審議官、稲葉国際統括官、吉田建設流通政策審議官ほかの国土交通省幹部の皆様との意見交換会を実施いたしました。

この意見交換会も環境省との間のものと同様、活発な意見交換がなされました。

今年も、1 月 28 日(水)に予定されている東洋エンジニアリング(株)様との意見交換会を皮切りに、継続していくこととしております。

5 NEDO 倉田副理事長との意見交換会

12月12日（金）に、エンジニアリング5社とNEDOの倉田副理事長との意見交換会を実施いたしました。

倉田副理事長をご訪問した際、協会会員企業にもっとNEDO事業を使ってもらいたい、とのご希望を頂き、何社かごとのグループに分け、倉田副理事長自らが出席いただいて、意見交換会を実施することとしたものです。

今年は、1月に3回こうした意見交換会を実施することとしております。

（備考）

上記3～5の意見交換会にご興味のある会員企業様がおられましたら、私又は企画渉外部までご連絡賜れば幸いです。

6 新中期計画の策定作業の開始

現行の中期計画に代わる新中期計画の策定作業を、事務局内部で開始いたしました。7月に実施したアンケート調査や、今まで会員企業様から頂いたご意見などを踏まえ、より会員企業のビジネスに役立つ協会事業を目指してまいります。

7 講演会の実施

昨年12月は、経済産業省貿易経済協力局の平成27年度予算の説明会があっただけで、講演会は実施しませんでした。

1月は、4件の講演会を実施する予定です（概要はこのレターに付けております。）。特に1月26日（月）に実施する上田資源エネルギー庁長官の講演は、公務お忙しい中、「執務時間外であれば可能かもしれない。」とのお言葉を頂戴し、無理をお願いして実施するものです。是非多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

8 三菱航空機(株)社長 川井昭陽様 訪問

当協会広報誌「Engineering」新春号のインタビュー記事を作成するため、三菱航空機(株)社長の川井昭陽様をご訪問しました。年末の12月25日（木）という慌ただしい中、快くお引き受けいただいたことを感謝しております。

MRJの特長や開発をめぐるご苦労などをお伺いしました。皆様には是非記事を楽しみにしていただければと思います。

2014 年 10 大ニュース

一般財団法人 エンジニアリング協会

1 賛助会員数及び協力会員数の合計が 200 法人越え

2014 年度に入り、前年度に引き続き新規会員獲得に努力した結果、賛助会員 26 法人、協力会員 1 法人が新たに当協会に加入し、会員数が合計 202 法人（賛助会員：183 法人、協力会員：19 法人）となった。（一般財団法人移行時（2011 年 4 月）と比べ、賛助会員数は 46 法人の増加（33.6%増）。）

ちなみに、現時点において 2014 年度の新規賛助会員加入数は 26 法人であり、既に 2013 年度の新規賛助会員加入数 25 法人を上回っている。

なお、2014 年の賀詞交歓会では、約 900 名という過去最大の参加者を得た。

2 賛助会員の 3/4 以上が、協会の会員サービスを「良い」と評価

7 月に全会員を対象として、協会活動に関するアンケートを実施し、全賛助会員の過半数から回答を得た。その中で、協会の行っている会員サービス全般について、21%が「非常に良い」、58%が「良い」と評価していただいた。

なお、賛助会員に認知度・評価の高い事業は、講演会、新年賀詞交歓会、エンジニアリングシンポジウム、メール配信情報、専務理事レターなどである。

3 週 1 回を超えるペースで講演会を実施

2014 年は、環境エネルギー問題や海外事情（海外安全事情を含む。）を中心に、合計 57 回の講演会を実施した。

上記アンケート調査でも、83%の会員が「講演会に参加したことがある」と回答しており、講演会の内容についても、81%の会員が「非常に良い」（19%）又は「良い」（62%）と評価している。

4 関係省庁や関係団体との交流会の実施

経済産業省及び外務省との間で、海外赴任予定者との交流会を実施し、エンジニアリング業界のビジネスを説明するとともに、大使館やジェトロなどに期待することを説明した。

また、環境省や国土交通省との間では、関 地球環境審議官や佐々木国土交通審議官をヘッドとする勉強会で、個別企業ごとにビジネスの概要をご説明するとともに、一層のご支援を要望する機会を設定できた。

更に、JETRO、JICA、NEDO など関係独立行政法人との間でも、ハイレベル及び実務レベルでの交流会を実施した。

5 エンジニアリングシンポジウム、エンジニアリング功労者等表彰が今年も好評

恒例のエンジニアリングシンポジウムが10月29日に開催され、多くの来場者を得た。今年は、特別講演（JAXA 川口淳一郎シニアフェロー・教授）、招待講演（村木茂東京ガス㈱取締役副会長）のみならず、聴衆のアンケート結果で高評価（「非常に良かった」及び「良かった」の合計が80%以上）であったものが、8セッションのうち6セッションであるなど、講演の満足度が高かったのが特徴であった。

これまた恒例のエンジニアリング功労者等表彰が7月22日に実施され、全応募件数が38件と過去最大となった。なお、平成25年度のエンジニアリング功労者賞受賞者を代表して、大成建設㈱技術センターの市原英樹様に、エンジニアリングシンポジウムでの講演をお願いしたが、聴衆の「非常に良かった」及び「良かった」との評価の合計が100%という素晴らしいものとなった。

6 安全対策支援室が発足し、活発に活動

会員企業の安全対策に対する意識の高まりを受け、2月10日に、事務局内に「安全対策支援室」を設置した。5月26日には、安全対策に関するWebをつくり、内外の主要なWebとのリンクを張るなど、会員企業に必要な情報提供に努めた。

安全対策に関しては、4月22日に取りまとめた提言（「インフラシステム輸出の更なる拡大に向けて」）でも、「海外危機管理への支援継続」を訴えた。

また、官民の有識者による講演会を随時実施したほか、11月20日には、半日かけて安全対策を学ぶ「安全対策啓発セミナー」を開催し、同月26日には有事対応模擬訓練を含む有料の「海外安全対策講座」を実施した。いずれも参加者の90%以上から高評価を得ており、今後も継続して実施する。

7 プロジェクトマネジメント セミナー（PMセミナー）が好評

2011年度、2012年度と受講者が漸減傾向にあったPMセミナーについて、広く関係者に周知を図るとともに、個別単位ごとの受講を認めるなどの制度改正を行った結果、2013年度から受講者数は増加傾向に転じ、本年度は、L1及びL2コースの一部において、部屋の広さの関係から受講をお断りせざるを得ないほどの盛況となった（来年度は、お断りすることのないよう配慮します。）。最近では、研修を受けるために会員となる企業も出てきている。

また、出前講座も2013年度の4社（5回）から2014年度は6社（8回）に増え、海外におけるPMセミナーでも、ジャカルタで満員札止めを出さざるを得なくなるなど、多くの受講者を得た。

8 当協会の作成した「海洋産業のための技術マップ」が高評価

国土交通省海事局・(独)海上技術安全研究所から受託した当協会が作成した「海洋産業のための技術マップ」が、国土交通省のみならず、内閣官房総合海洋政策本部、経済産業省、JOGMEC などから、「こうした調査は今まで存在せず、大変参考になる。」との高評価を得ている。この技術マップは、海洋開発技術に関する現状を、関係企業への聞き取り調査などを踏まえて取りまとめたものであり、2013 年度は FPSO について実施し、2014 年度はそれ以外の分野について広く調査を行っている。

なお、2013 年度の報告書については、当初作成した部数では足りずに増し刷りを行ったが、こうした委託調査には稀なことと思われる。

9 地熱プロジェクトも好調に推移

2011 年度以来、当協会としては各地の小規模地熱発電の支援を実施してきたが、2014 年度も本事業を積極的に推進した。

地熱発電の推進を希望する地方自治体（大分県、長野県大町市、石川県七尾市、宮城県大崎市、和歌山県）からは、当協会に対して支援の要請があり、スマート農業ハウスの設計、学習会・見学会のアレンジなどを実施した。

また、JOGMEC からは「小規模地熱発電プラント設計ガイドライン作成業務」の委託を受けた。

有志会員企業及び関係省庁、研究機関などのオブザーバーで構成する「小規模地熱発電・熱水活用研究会」の活動も活発であり、地熱発電関係の賛助会員も依然増加している。

10 石油開発環境安全センター（SEC）も 3 件の案件を受託

SEC は、今までの知見経験を活かし、経済産業省から「大水深海底鉱山保安対策調査」に関し 2 件、JOGMEC から「メタンハイドレート開発に関わる海洋生態系への影響評価のための基礎研究」1 件と合計 3 件を受託した。

この受託事業実施の一環として、英国、豪州、米国、ノルウェー、ブラジル、南アフリカ、マレーシアなど年度内に世界五大陸への現地調査を実施した。この調査を通じ、海底石油・天然ガス田について、規制やリスク評価の見直し動向及び最新の保安対策技術等に関する詳細な情報を入手するとともに、各国の規制当局及び事業者との人的ネットワークも構築できた。

今後、こうした情報や人脈を活用し、会員企業のビジネスを支援していきたいと考えている。

1月の講演会の実施について

平成 27 年 1 月 5 日
一般財団法人 エンジニアリング協会
専務理事 前野陽一

来年 1 月は、4 件の講演会を実施する予定ですが、その概要は以下のとおりです。なお、正式のご連絡は別途させていただきます。

(備考)

今年から来年にかけての連休は、多くの企業では、12 月 27 日（土）から 1 月 4 日（日）までであろうかと思います。

このため、一部の講演会については、内容が確定していないところもありますが、早めに概要を送らせていただきます。また、3 つの講演は、通常通り 10 時 30 分からですが、**1 月 26 日（月）**に行う**上田資源エネルギー庁長官の講演は、18 時 30 分**からですので、お間違いのないようにお願いします。

1 最近の日中経済関係と中国の対外開放政策

(1 月 15 日（木） ジェトロ アジア経済研究所 新領域研究センター
上席主任調査研究員 大西 康雄様)

APEC 首脳会議の際に、安倍総理と習近平国家主席との首脳会談が実現しましたが、日中関係は、依然として緊張状態が続いています。

そうした中、2013 年 10 月のジャカルタにおける APEC 首脳会議において、習近平国家主席は、アジアのインフラ建設を重点的に支援する「アジアインフラ投資銀行」の設立を提唱し、2015 年末までに運営が開始されることとなっています。この動きは、日本のエンジニアリング関連業界にも大きな影響を与えるものと考えますが、その実態はなかなかつかめないのが現実です。

今回の講演では、中国の専門家である大西様に、中国の対外経済政策の中でこうした動きをどう考えるべきかをご講演いただきます。

海外営業部門、企画部門の方のみならず、経営幹部の皆様にもお聞きいただければ幸いです。

2 グローバルビジネス展開の成功へのカギ ～社員の健康と安全のために～

(1月22日(木)) インターナショナル SOS ジャパン (株)

代表取締役社長 関 俊一様)

インターナショナル SOS ジャパン (株) は、「24 時間 365 日アクセス可能な医療と安全上の支援サービス」を行っている著名な企業であり、ご存知の方も多いかと思います。

今回の講演では、海外赴任先や出張先での社員や家族の健康や安全を如何に守るべきかをお話しいたします。

安全管理、人事部門や海外営業部門の皆様にお聞きいただければ幸いです。

3 最近のエネルギー情勢について

(1月26日(月)) 18時30分より 資源エネルギー庁長官 上田 隆之様)

公務大変お忙しいところ、上田資源エネルギー庁長官に講演をお願いすることができました。

国会会期中であることが考えられることもあり、18時30分からという執務時間外の時間をセットさせていただきました。

講演の内容については、これから考えられるとのことですが、資源エネルギー政策全般のお話を頂けるものと思います。

資源エネルギー関連部門の皆様はもちろん、経営幹部の皆様にも是非お越しいただければと思います。

4 石油天然ガス開発を巡る国際情勢

(1月29日(木)) (独) 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 理事 藤野 真司様)

藤野様は、経済産業省からの現役出向で、(独) 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (JOGMEC) の理事として活躍されておられます。

2014年8月に行われた中東現地協力会議において、藤野様がイラクの石油開発状況をお話になりましたが、現場の生の状況を踏まえた印象的なものであったため、特にお願いをして、当協会でも講演をしていただくこととなりました。

今回の講演では、中東のみならず世界の石油天然ガスの状況についてお話しいたします。

資源エネルギー部門の皆様や海外営業部門の皆様にお聞きいただければ幸いです。